

2023. 2. 8

発行: 桜本保育園

044(288)2545

えんだより 2がつ



近くのおうちの庭に 梅の花が咲き 春の訪れをし
らせてくれています。が、保育園では 亀は まだ冬眠
からさめず 段ボールがかぶっている水槽の中で じ
っとしています。毎日のように のぞき窓をそっとあ
けて 寝ていることを確認して「しずかに～」と教え
てくれる子どもたちです。

平和を考えるイベントとして行っている「すぺーす
PAZ」 ことしも「へいわの木」にハートの形の
メッセージカードに へいわの種になる ことばを
かいてかざっています。卒園児も 学校帰りに届けて
くれたりしています。また 少しずつ集めてきた
民族衣装を自由に着てもらい かわいい姿を写真に
とる予定です。

また 2月11日は おやこコンサートとミニバザー
を おこないます。おやこコンサートは 卒園児の
保護者と卒園児が すてきな音楽劇を 作ってくれて
います。ミニバザーは 不況の中 品物を集め 地域
に向けて 100円で提供しようと たくさんのもの
が 集まってきています。当日たくさんの人が
訪れることを願って 商店街のお店に ほごしゃの
会の役員さんたちが ポスター掲示のお願いを して
きました。いつもは こどもたちがいて自転車
で素通りするママたちが「初めて入りました」「今度ゆっ
くり買いに行ってみよう」と話していました。コロナ禍
の中 閉ざしていた保育園が地域とつながる新たな
一歩です。

1月は インフルエンザと胃腸炎で 体調不良の
子どもたちが たくさんいました。2月に入りやっとみ
んなが 登園してきています。ただ まだ 病気をた
たかっているおともだちがいます。こどもたちと
元気になるように お祈りしています。(P)

2月のよてい

- 10日 にじいろメニュー
- 11日 すぺーすPAZ
- 13日 わくわくひろば
- 15日 園児健診 (0・4歳児)
- 17日 にじいろメニュー
- 18日 新入園児説明会
- 24日 ぼとんたっちの会
- にじいろメニュー

3月のよてい

- 4日 AMIGO 説明会
- 6~8日 AMIGO申し込み受付
- 11日 そつえんのつどい
- 14日 ひとみ座人形劇
- 15日 園児健診 (0・1・5歳児)
- 16日 貸目 お別れ遠足



News・おしらせ・알림・balita

★AMIGO を 来年度も 利用するおうち
は 3月6~8日に 申し込んでください。

★登降園・連絡帳の「IXSIE」が 3月末で
終わることになりました。あたらしく「はい
チーズ」というところにかわります。
貸目以外は 3月から使い始める予定です。
詳しいことは あらためて おしらせします。

★3月土曜保育について

11日の そつえんのつどい

18日の 新年度準備

この二日間 家庭保育の協力を お願いい
たします。



「わたしたちを愛されたのですから」

「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償い
いけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神が
このようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。」
(ヨハネの手紙一 4章 10～11節)

1月の大寒波では数年ぶりの大雪で交通網や日常生活に大きな影響が出ました。一方で、梅の花は
開花し、春の訪れを告げています。自然の営みの不思議さを感じます。

自然の前では、「はやく春になってほしい」と言ったところでそうなることもなく、めぐりくる季節の訪れ
をただ迎えます。手続きも取引も役にたちません。しかし、わたしたちはどうでしょう？ 子どもに、大人の
都合で「はやく〇〇なさい」とつい言っていないませんか。朝から晩まで一日中「はやく、はやく」を求めています
か。子どもだけでなく、大人もスピードが求められる世の中です。ゆっくりやればできることも、せかさ
れると焦って自信がなくなったり、「はやく、はやく」と言われて萎縮したりした経験は誰にでもあると思
います。

子どもは、毎日が新しいことへの挑戦にあふれ、わくわく感でいっぱいです。挑戦を、ゆっくりと最後ま
で見守ってくれているという安心感が与えられれば、自信につながると思います。「待っているからね」「自分
のペースでいいよ」という言葉が、挑戦を後押しします。子どもだけでなく、大人にも言えることだと思
います。

今月の聖書には「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償
いけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります」とあります。人は失敗もするし、過
ちも繰り返してしまう、弱さを持った存在であると思います。「良い子」でなければ愛されないとしたら、誰一人
「資格」はないでしょう。けれども、聖書は神さまの方から、イエスさまを通してわたしたちを愛してくださ
っていると言うのです。そして「神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合
うべきです」と、無条件に愛されたものとして、互いに愛して生きることの大切さを語っています。神さまの
愛に見守られ、安心して過ごす日々でありますように。

体調を崩しておられる方々の回復と、皆さまの健康と平安をお祈り申し上げます。

(チャプレン 鄭富京)

1月の ライト

